# 大崎市議会だより

第53号
平成30年3月1日発行

今回の定例会は 2月 6月 9月 12月

平成29年度宮城県中学校総合体育大会男女団体戦で２年連続優勝
（三本木中学校卓球部）

■市長に聞きました・・・・・・・２～１０
■こんな事を議論しました・・１１～１２
■委員会活動報告・・・・・・・１３～１６

# 一般質問

平成２９年第４回大崎市議会定例会は、１２月７日に招集され、１２月２１日までの１５日間の日程で行われました。

市政に対する一般質問は、１２月１８日、１９日、２０日、２１日（４日間）の日程で、議員定数３０人中、２６人が市長の見解を質しました。要旨は次のとおりです。

## 世界農業遺産の保全と活用

只野　直悦

**問**　**大崎耕土が認定されたことは、地域の誇りであり、新たな出発点である。次世代につなげるには、小中学生に広域的にアプローチすることなどが重要と思うが方策は。**

**答**　これまで行ってきた「おおさき生き物クラブ」の活動を継続し、大崎地域４町と調整を図り、指導者の人材育成を進めていきたい。

**問**　**認定を契機に、農産物のブランド化と販売戦略の前進に拍車をかけるべきと思うがどうか。**

**答**　世界農業遺産ブランドとしての認証制度の共通のルール作りや販売戦略について、農業団体や消費者団体などのネットワークで制度の構築に取り組んでいく。

### 中学校部活動の環境整備

**問**　**吹奏楽部で使用している楽器は、老朽化の著しいものもあると聞く。教育委員会で調査をし、計画的に更新すべきと思うがどうか。**

**答**　楽器の老朽化は認識している。今後、状況を調査し更新に向けて検討していく。

**掲載以外の主な質問項目**

- 幼児期からの健康教育
- 大崎市都市交流事業補助金基準見直しの進捗
- 大崎市マスター検定と料理コンテストの取り組み

## 農業政策

氏家　善男

**問**　**①減反政策の廃止に対する本市の対応は。**

**②「ささ結」の作付奨励方法は。**

**③圃場整備の取組状況は。**

**④有害鳥獣駆除の強化は。**

**答**　①農業再生協議会で生産の目安を提示し、これまで同様各種交付金等を活用し、需要に応じた生産をＪＡと連携し進める。

②「ささ結」は高価格で流通しており、農家の生産意欲を高め販売促進に力を入れていく。

③圃場整備は19地区で実施、7地区で採択を目指しており、事業期間短縮を国県に強く要望していく。

④特にイノシシの被害が拡大しているので、大崎市鳥獣被害対策実施隊を中心とした地域ぐるみの被害防止体制の構築を早急に検討する。

### 岩出山地域スクールバス

**問**　**①スクールバスの乗降場に雨、雪をしのぐ建物、簡易トイレの設置が必要と考えるがどうか。**

**②スクールバス委託業務の進捗について伺う。**

**答**　①バスに乗るまでの待ち時間はないので、建物、トイレの設置は考えていない。

②バスの業務委託は、年内を目途に発注に努める。

## 障がい者(聴覚)福祉の推進

後藤　錦信

**問** **障がいを持たれている方々が、市役所等に来庁された際の対応を伺う。**

**答** 障害者差別解消法の規定に基づき、市職員対応要領を策定し、運用を行っている。

障がいのある方の種別は多様であることから、今後も市の要領に基づき、柔軟な対応を行っていく。

**問** **聴覚障がい者、音声機能または言語機能障がい者に、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣する意思疎通支援事業の今後の方向性と、手話通訳者の配置も含めて伺う。**

**答** 公的機関への用務の際や、病院等における医療に関する用務等に利用でき、利用料は無料となっている。

手話通訳者の配置については、これまでの利用は病院等医療に関するものが大半を占めているが、利用状況を勘案しながら検討していく。

**問** **市役所人材育成の視点から、手話通訳者の育成に向けての研修を実施すべきではないか伺う。**

**答** 新任職員研修の中で、手話講座を行っている。

また、窓口担当者などにも受講してもらっているが、資格取得には相当の時間を要することから、そこまでの養成には至っていない現状である。

## 建設部機構改革と予算執行率向上対策

佐藤　和好

**問** **ここ数年、土木費の翌年度への繰越が多く、予算執行率が低下している。本庁舎建設事業など、大型の建設事業計画を実施する建設部の組織体制を改編し、計画の推進を図るべきではないか。**

**答** 建設部所管事業の予算執行率低下は、改善すべき課題と認識している。とりわけ、事業用地取得が事業進捗に大きく影響するので、来年度に用地取得業務専門体制を検討するよう組織機構担当に指示した。

また、本庁舎建設などの大型事業を推進する体制を市役所全体で調整し、30年度に向けた組織機構案を改めて示す。

### 学校給食費徴収業務改革

**問** **文科省は、教職員の長時間勤務解消策の一環として、学校給食費徴収業務を自治体で行う方針を示し、30年度予算に「ガイドライン作成経費」を要求したが、本市での実現に向けた所見を問う。**

**答** 学校給食費は、センター受配校は公会計、単独調理校は学校徴収での私会計となっている。徴収業務の負担軽減だけでなく、会計の透明性を高めるためにも、給食費の公会計化は必要と考える。文科省の「ガイドライン」策定を待って具体的対応を検討する。

## スポーツ施設の充実

大友　文司

**問** **大崎市には旧自治体で整備した多くの運動施設があり、各種スポーツ大会や各スポーツ団体の練習などで、年間を通して幅広く利用されている。**

**市内の運動施設の多くは老朽化が進んでおり、特に古川の総合体育館と武道館は雨漏りを繰り返しており、根本的な対応をすべきである。平成28年志田東部の議会報告・意見交換会で青森県弘前市を参考にとの指摘があり、29年６月10日に市民の有志より「総合運動公園整備」の要望書が提出されたが、来年度の予算に検討しているのか伺う。**

**答** スポーツ施設の整備については、新市建設計画の公共的施設の統合整備の中で、教育・文化・スポーツ等のための各種公共施設の統合整備と適正配置について、利便性を考慮しながら地域バランス、財政を考え検討する。

一方、老朽化の進んでいる施設においても同様に、整備計画を立てて進めている。スポーツ総合的施設を兼ね備えた総合運動公園から、陸上競技場とサッカー場を兼ねたものの要望がある。総合的な判断が必要と考えており、スポーツ推進審議会等で慎重に協議を進めていく。

現在の総合体育館と武道館（古川地域）

一般質問（市長に聞きました）

## 放射性物質汚染廃棄物処理

小沢　和悦

**問**　一般廃棄物最終処分場（大日向クリーンパーク）に隣接する三本木伊賀地区は、平成29年6月11日の各種団体代表者会議で、満場一致で放射性物質汚染廃棄物焼却灰の搬入受け入れ反対を決議し、市長、市議会議長に陳情書を提出している。

最終処分場をつくるに当たって、萱刈（かやかり）水利組合と大崎地域広域行政事務組合で結んだ「覚書」がある以上、これを変更しない限り、焼却灰の搬入はできないはずである。

11月17日の議会総務常任委員会に、参考人として出席いただいた大崎地域広域行政事務組合の代表も「覚書の変更なしに、放射性物質汚染廃棄物焼却灰の搬入はできない」と明言している。市長はそれを認め、搬入強行はありえないと表明すべきではないのか。

**答**　大崎地域広域行政事務組合と連携して進めることになるが、「覚書」はその通りなので、理解を得られるよう努力を続けたい。

**問**　国連食糧農業機関（FAO）から大崎耕土が世界農業遺産に認定され、今後、保全し発展させなければならないのに、４つの水利組合が反対している搬入は断念すべきではないか。

**答**　理解されるよう説明していく以外にないと考える。

大日向クリーンパークへの焼却灰搬入反対陳情調査

## 学校における働き方改革

木内　知子

**問**　平成29年8月、中央教育審議会の学校における働き方改革特別部会は、「学校における働き方改革に係る緊急提言」を示した。

その冒頭部分で、「教職員の長時間勤務の看過できない実態の改善に向けて『今できることは直ちに行う』という認識を、教育に携わる全ての関係者が共有すると共に、必ず解決するという強い意志を持って、それぞれの立場から取り組みを実行し、教職員がその効果を確実に実感できるようにするためにまとめた」としている。

そこで、この提言を受け、本市の教職員の多忙化に対する考え方と改善計画について伺う。

**答**　教員の仕事は、学習指導、生活指導、部活動指導など多岐にわたる。特に中学校の部活指導者の負担は大きい。部活動は、平成29年3月、県教委が出したガイドラインに沿って、適切に休養を入れながら実施するよう指導し、教員の負担軽減を図っていく。

さらに、各学校では、会議の精選や時間の短縮、管理職からのノー残業デーの提示等取り組んでおり、一層多忙化解消の働きかけを行っていく。

改善計画については、国の改革案を待ち具体化したい。

## 財政健全化策と産業振興策

八木　吉夫

**問**　新市建設計画の変更に伴い、財政調整基金の激減が予測される。健全経営にどう取り組むのか。さらには、税収増をどの様に図るのか伺う。

**答**　健全経営の取り組みについては、最小の経費で最大の効果を上げていく行政運営の必要性を感じている。常に将来を見据えた財政運営を念頭に置き、施策の優先順位を定めるとともに、事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底することで、歳入に見合った歳出規模への転換など、一層の行財政運営の効率化に取り組んでいく。

税収増を模索した産業振興策については、「連携・醸成・発信　次世代へつなぐ産業の創造」を目標とし、市民が経済的に豊かな生活を送れるよう取り組む。

観光面では、国内外からの交流人口の増や消費拡大につなげていく。

ＮＰＯ法人未来産業創造おおさきと連携し、産学官金連携、内発型新産業の創造、創業支援による事業者育成、企業誘致による雇用環境の整備等を推進する。

再生可能エネルギーを活用した持続可能な循環型社会の形成を促進する。

また、人、物、知恵などの資源が集積されるプラスのスパイラルが形成されるよう構築し、税収の増加につなげる。

# 国民健康保険県単位化の課題

豊嶋　正人

**問　都道府県単位化（広域化）の目的について、どのような見解を持っているのか伺う。**

**答**　被保険者の年齢層が高く医療費水準が高い低所得者が多く、小規模保険者が多いという課題があげられ、国保財政が赤字となる要因となっている。

近年の医療の高度化で小規模保険者は、急激な医療費の増加に耐えられないおそれも出てきている。県単位化で国保財政の広域化を図り、県を財政運営の責任主体としたものである。

**問　埼玉県が示した標準保険税のシミュレーションは、全ての市町村で上昇している。上昇幅の一番多い自治体は、約207％と倍以上にもなる。この標準保険税だと、納められない被保険者が急増することは容易に想像できる。宮城県の傾向はどのようになっているか伺う。**

**答**　一人当たりの保険税額が増加する自治体が17、減少が18でありほぼ半々である。本市は、わずかながら増加するという試算結果である。

平成30年度以降の市独自の事業や財源などを調整して国保税を試算すると、一人当たりの保険税額は減少すると見込んでいる。健康保持増進事業や特定健診などの保健事業、資格の取得や喪失、保険の給付事務などは、これまでどおり継続する。

# 大崎産ブランドの確立と積極発信

佐藤仁一郎

**問　新たな生産調整が本格的に動き出す。世界農業遺産認定も含め、米や大豆以外で、大崎産を力強く発信する産物も追及すべきと考えるがどうか。**

**答**　「ささ結」は高評価を受けており、大豆も日本有数の産地である。JAとの連携の中で、ねぎやナス生産の推奨策も検討している。

機械購入補助や国の補助政策なども活用し、大崎の農業を推進、発信できる体制の構築に取り組んでいきたい。

## 山林開発後の環境保全策

**問　山林伐採や開発後の環境維持をおろそかにすると、既存水路の排水能力をはるかに超える流量となる。排水、環境保全対策も義務化すべきであると考えるがどうか。**

**答**　地域森林計画の対象民有林の伐採は、市町村への届出が必要であり、1haを超える林地開発では県知事の許可が必要となる。また、0・7ha以上の時は、防災調整池設置の協議が求められる。開発指導要綱に基づく協議では、周辺環境への影響や、排水能力の計算に基づく計画が求められており、完了後の検査も実施している。

**掲載以外の主な質問項目**
- 農業再生協議会の役割
- 水田フル活用の推進策
- 地方卸売市場の存続

# 国道4号上り線米袋地区に学んで

相澤　久義

**問　古川米袋地区の皆さんが行っている国道4号上り線の花の植栽等の美化活動に対し、報奨制度をつくり、この活動を他地域へ拡大すべきではないか。**

**答**　他地域での取り組みのきっかけとなるよう、国とも相談しながら、周知の方法を検討する。

## 鳴瀬川河川管理

**問　①平成27年の9・11豪雨時、三本木中学校前堤防はあと10数cmで越水の危機となり、周辺の東北自動車道付近国道4号冠水による通行止め、廻山地区は床上浸水等の大きな被害を受けた。**

**現在、新町排水機場建設工事が進められているが、堤防天端まで1・5mに達すると排水停止となり、住民は不安である。桑折江頭首工以西の河道の堆積土砂の早期撤去をすべきではないか。**

**②三本木地域下流の堤防改修は進んでいるが、坂本天性寺裏の浸食、東北自動車道より下流の堤防の改修計画は。**

**答**　①適正な維持管理に向け、江合・鳴瀬・吉田川水系改修期成同盟会と連携し国に強く要望していく。

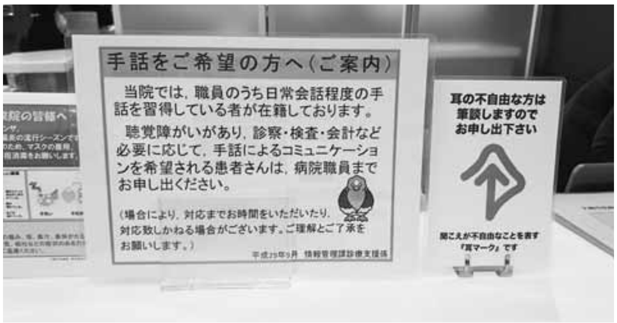
②鳴瀬川水系整備計画において、鳴瀬川と多田川の合流点から上流に向かって河道掘削に加え堤防整備が計画されている。本整備計画は平成19年度から30年間の計画で、早期整備に向け国に対し強く要望していく。

鳴瀬川の堆積土砂の現状

中鉢和三郎

## 市民病院への手話通訳士配置

**問** 海外で病気をした際、言葉が通じないことでコミュニケーションが取れず、不安な思いをしたり危険な目にあった方は多いと聞く。国内でも、聴覚障がい等で音声言語でのコミュニケーションの取れない障がい者の方は、海外での病気と同様に大変苦労されていると伺った。障害者差別解消法では、〝不当な差別的取り扱いの禁止〟と〝合理的配慮の提供〟を求めている。




市民病院本院総合窓口の手話案内

よって、市民病院への手話通訳士配置は、〝合理的配慮の提供〟の一環として必要かつ重要な取り組みと考える。現在、手話通訳者等の派遣を行う「意思疎通支援事業」が実施されているが、病院での利用は、急な疾病で緊急性が求められるケースも多く「派遣」ではなく「配置」が強く求められるが、所見を伺う。

**答** 人材確保が困難であり、手話通訳士等の有資格者の確保は難しい。しかし、手話による基礎的会話のできる人材を育成しながら、状況を改善していきたい。

**問** 代替手段として、ICTを活用した「遠隔手話通訳サービス」の導入はどうか。

**答** 先進事例を参考にし、導入に向け検討したい。

**掲載以外の主な質問項目**
- 防災行政無線の補完システム整備と地区毎の防災力強化策

横山　悦子

## 子育て支援

**問** 病気にかかりやすい0歳児、また、所得制限がぎりぎりの世帯の所得制限撤廃について伺う。

**答** 前年度の保護者の所得と、扶養親族の数により決定するので扶養から外れる。国が取り組もうとしている幼児教育無償化による市の財政負担の見通しがたたないので、国の支援策と併せて検討する。

**問** 来年度で終わる任期付採用保育士の今後の方針は。

**答** 公立保育施設民営化計画は、2020年度末までの期間で行う。任用は、現在の任期延長ではなく、雇用機会創出のためにも新たな採用試験を行う。将来的には、職員の定員管理計画と併せ、任用数、任期について検討する。

### 「鳴子の水」販売

**問** 「日本一おいしい水」に輝いた「鳴子の水」の販売について伺う。

**答** 市場に出まわる自然水、天然水と比較すると、採算性からハードルは非常に高い。無償提供を通じて、市内外にアピールするとともに、将来減少する給水量の歯止めのPRを講じ安定経営に努める。

**掲載以外の主な質問項目**
- 平成29年度全国学力・学習調査の評価と課題、今後の対応
- 岩出山地域の小学校統廃合に併せての諸問題

木村　和彦

## 放課後児童保育の課題解決策

**問** 岩出山地域の統合小学校の、放課後児童保育の保護者との連携はどうか。

また、古川地域のナンバースクールにおいて、待機になっている児童保育の解消策は。

**答** 岩出山地域の保護者へは、すでに数回説明会を行っており、今後も丁寧な説明に取り組んでいく。

古川地域で待機状態となっている放課後児童保育については、新たな施設用地の確保が困難なことから、学校敷地内に既存施設のサテライト的な100名規模の施設を建設する予定で進めており、早期の待機解消に向けて事業を進めていく。

### パークゴルフ場活用策

**問** 三本木パークゴルフ場は多くの市民が待望する施設である。観光立市を標榜する市長は、この県内有数の施設を活かし、新たな観光施策の目玉として政策に活かしてはどうか。

**答** 県内有数の施設になると認識している。世界農業遺産の認定もあり、全国に情報発信する絶好の機会と捉え、パークゴルフ場を健康増進の施設として広くPRしていく。

**掲載以外の主な質問項目**
- 妊婦への医療費の全額助成制度の新設
- 小学校の統廃合

一般質問（市長に聞きました）

## 総合支所及び本庁機能の連携総合評価

佐藤　仁一

**問**　田尻、鳴子の両総合支所建替えや市役所本庁舎建設が具現化している今、現状の総合支所機能と本庁機能の連携調整等の総合評価をしっかり行って、今後の市政運営における総合支所の主体的な機能ビジョンを示すべきである。

明確化しないまま建設計画が進んできたことに不安を感じる。

そして、旧市町の地域づくりと、大崎市全体のまちづくりのバランスあるマネージメント力により、総合支所の機能が高められ、存在感が増すと考えるがどうか。

**答**　市民に身近な行政サービスを提供する地域の総合窓口と位置付けて、安全・安心を守る、協働の推進、産業振興の各業務を担うこととしている。

定員管理計画に基づき、現有人員を維持する考えである。本庁の職員や公民館職員などが実態を把握し、庁内横断的な体制でまちづくりの支援を行っている。

**掲載以外の主な質問項目**
- 観光と連動する地域戦略
- 水田農業改革が及ぼす本市産業振興計画への影響

## 農業振興政策

遊佐　辰雄

**問**　①小規模な家庭農業にも後継者支援、機械購入助成の適用条件を緩和すべきではないか。

②鳥獣被害対策を緊急抜本的に強化すべきと考えるがどうか。

③JAいわでやまで奨励する、イチジク栽培の苗に対する助成をすべきと考えるがどうか。

**答**　①中山間地等で小規模農業者等が継続できるよう、法人化支援やアグリビジネス支援の拡大に努める。

②箱ワナ、狩猟免許取得等を支援し強化していく。

③助成できるよう検討する。

### 中小商工業者の振興

**問**　中小企業・小規模企業振興条例制定に向け、検討委員会を立ち上げ、来年度中に条例制定を目指すべきと考えるがどうか。

**答**　現在、制定に向け商工会議所、商工会等と協議を重ねている。できるだけ早期に制定できるよう努める。

**問**　地元の工業を伸ばし雇用拡大のため「工業振興課」と、商業を本気で応援する「商業振興課」に、多くの観光客を呼び込むよう「観光推進課」に体制を変更してはどうか。

また、温泉観光推進室の権限を強化すべきと考えるがどうか。

**答**　各課の連携を密にし使命を果たし、温泉観光推進室も本庁と十分に連携していく。

## 少子化対策と幼児教育の取り組み

相澤　孝弘

**問**　幼稚園と保育所における知力・学力の格差をどの様に解消していくのか。

**答**　運営形態や根拠法令に違いはあっても、子どもの健全な心身の発達を図る目的は同じである。

新保育所指針では幼稚園教育要領と同じく「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」について具体的に10項目示されており、来年度より取り組んでいく。

### 新年度予算編成への考え

**問**　事務事業評価の結果をどのように活かして、新年度予算に結びつけ、職員のやる気を喚起させるのか。

**答**　第2期行政改革大綱を推進する上で、第4次集中改革プランの取り組みとして見直しを行う。併せて、職員の意識改革を行い、やる気が引き出せるような研修機会を設ける。

認定こども園移行予定の虹の精保育園（古川地域）

**掲載以外の主な質問項目**
- 0から2歳児の保育体制と保護者が抱える苦悩
- 新たな文化施設の必要性
- 常襲冠水解消対策
- 劣化が著しい老朽橋の再整備

## 職員の定年延長と非常勤職員の期末手当

氷室　勝好

**問** **少子高齢化による労働人口減少が進展する中、国は公務員の定年を段階的に延長とのことであるが、本市の取り組みはどうか。**

**さらに、国は非常勤職員への期末手当を支給する方針であるが、国の指針より先んじての支給に取り組んではどうか。**

**答** 定年退職者のうち希望者を再任用し、公的年金との確実な接続を図っている。さらに地方公務員法の改正により、臨時、非常勤職員は、会計年度任用職員に対し、期末手当の支給が可能になる。今後は国の情報や他の自治体の取り組み等を踏まえ、平成32年度からの施行に向け準備を進める。

非常勤職員が多く働いている子育て支援総合施設

### ふるさと歴史館の運営

**問** **松山ふるさと歴史館は、常設展示室に歴史資料が展示されている。空調設備が設置され、博物館法に準ずる施設である。旧町当時、正職員の学芸員を配置し、有効に活用された。今後充実した運営体制を求められていると考えるがどうか。**

**答** 現在の職員体制は、行政改革による非常勤職員での体制である。法に準ずる施設であるので、充実運営に向け庁内で検討する。

**掲載以外の主な質問項目**
・総合的な満足度向上と職員数

## 西地区熱回収施設等整備事業

関　武徳

**問** **リサイクルセンター建設が進む中、熱回収施設建設発注へ詰めの段階だと思うが、桜ノ目地区からの施設建設に対する要望書への対応として、協議会及び、専門部会を設置し、地域振興策や環境整備について協議をしている。**

**市では具体的施策を検討しているが、施策の具体的取り組みを、地元にどう示すのか所見を伺う。**

**答** 本年5月に、協議会より「西地区熱回収施設等周辺振興ビジョン」が提出された。これは、桜ノ目地区からの要望を基に、住環境の整備や地域振興を目指した取り組み方針・施策が定められている。協議会は継続して活動し、地域代表と市関係部署で構成する専門部会を通し、ビジョンの進捗状況のチェックや施策の優先順位の検討を行う。

また、今後の具体的な取り組みについては、施策の実施時期を短期・中期・長期に区分し、短期・中期の施策は、毎年度実施計画に計上し着実に整備を図る。長期の施策は、十分な調査等を行い、方針や実施時期を検討し、さらなるビジョンの実現に努める。

**掲載以外の主な質問項目**
・古川第四小学区放課後児童クラブ施設設置と課題

## 宝の都（くに）大崎の宝

加藤　善市

**問** **宝の都（くに）大崎の宝は何があるのか。また、それらをどのように磨き、輝かせるのか伺う。**

**答** 大崎市は、旧1市6町それぞれが文化、自然、交通の利便、人材等様々な宝を持ち寄り合併しており、それらが全て宝であり一つ一つ育てていきたい。

**問** **大崎の宝の一つ、大崎産米のうち、「ささ結」を市長はマスメディアを使い一生懸命PRしているが、なかなか浸透していないのではないか。市役所全体での取り組みが必要ではないのか。**

**また、ふるさと納税でも大崎市の対応は、市長と同じ方向を向いていないのではないか。**

**答** 現在、アグリフードエキスポや、全国すし祭り等のイベントでPRをしており、徐々にスーパー等で販売が拡大している。

今年度は「ささ王」決定戦で、大崎市の米のPR活動を行っている。

また、ふるさと納税は今後見直しをしていく。

**掲載以外の主な質問項目**
・測量業界の談合情報と市の対応で、現時点での調査の状況及び市の事業への影響

# 災害情報補完システムのあり方

佐藤　弘樹

**問** 防災・観光用の公衆無線ＬＡＮ整備や、防災・地域情報がスマートフォンなどに対応したわかりやすく手軽に入手できる環境整備への考えは。

**答** 市ウェブサイトでも防災情報などを掲載しているが、さらに工夫を重ねていきたい。

## 学校支援ボランティア

**問** 地域の方々や保護者が各学校活動に参加・協力しやすい環境づくりの一環として、どのように学校支援ボランティア拡充に努めているのか伺う。

**答** 学校ボランティア推進事業は全ての幼稚園・小中学校で実施している。実践事例集の配布や家庭教育研修会などでも理解向上につなげたい。

## ブックスタートの導入

**問** ブックスタートは、乳幼児期から本に接することで親子での図書館利用につながり、読み聞かせに興味を持つ大人が増えるなど、地域でも継続的に子育てに悩む家庭への支援につながる効果があるが、所見を伺う。

**答** 図書館や健康推進課など、関係課で協議し検討中である。

**掲載以外の主な質問項目**

- 市の花・木・鳥等普及事業
- 観光公社の運営と役割
- 有害鳥獣被害対策の拡充

# 市役所職員の市内への居住対策

大山　巖

**問** 市が定住化対策として様々な政策を実施している中で、市の職員で市内に居住していない職員もいる。

そこで、市外居住の職員が何人いるのか伺う。併せて職員の市内居住について、何らかの対策をとっているのか伺う。

また、大きな災害が発生した場合、職員の招集の遅れなど業務に支障が出るのではないかと心配しているが、どのように考えているのか伺う。

**答** 平成29年４月１日現在で、職員の市外居住者は１３６名で割合としては13・５％となっている。職員の市内居住対策は行っていない。

災害時の対応については、人事異動において、地元出身者等、地域の事情に精通した職員を一定程度配置することにより、災害時の初動に対応できるよう配慮している。市の幹部職員についても、災害発生時には30分以内に災害対策本部会議に出席できる状況となっている。今後も万全を期していきたい。

**掲載以外の主な質問項目**

- 国交省管理の河川内の立木伐採対策
- 転作制度廃止後の農業経営対策
- 景観条例の制定
- 児童生徒に対する表彰条例の制定

# いじめ予防と不登校の問題解決

山田　和明

**問** いじめ予防とその対策を講ずるため、チーム学校としての取り組みと、不登校の現状及び問題解決への取り組みについて伺う。

**答** いじめは、10月末現在で小学校62件、中学校１２４件認知されており、いじめ予防のために配置されている「スクールカウンセラー」や、「親と子の相談員」との情報交換を行い、職員での声掛け、見守りを進めている。

いじめを認知した際は事実確認を行い、いじめられた側の相談、いじめた側への指導にあたり、継続したいじめにならないように早期解決に向け取り組んでいる。

不登校は10月末現在、30日以上の欠席者は小学校28人、中学校１０１人で、家庭との連携を密にし家庭訪問やケース会議を開き、児童生徒の支援計画を作成し対応している。

## 鹿島台公民館建替え

**問** 鹿島台公民館は開館から40年が経過し、施設全体の老朽化が目立つことから、建替え整備計画を立てるべきと考えるがどうか伺う。

**答** 中央公民館は、古川七日町西地区の再開発事業による移転整備を計画している。加えて基幹公民館の将来的な整備について、議論を始めなければならない時期と認識している。

現在の鹿島台公民館

## 北朝鮮ミサイル発射への防災体制

青沼　智雄

**問**　度重なる北朝鮮のミサイル発射に対し、いざという時の構えを伺う。

東日本大震災以後、防災意識は高いが防災活動を実践しない。もっと危機意識を持つ防災体制について、どのような対応が考えられるか伺う。

また、訓練参加意識の取り組みについて、実際に訓練に参加する人は少ない状況で、参加意識を高めるために、どのような訓練をするべきと考えているか伺う。

**答**　ミサイルが発射された場合の避難行動の周知徹底は、非常に重要であると認識している。

本市では、ミサイル発射時の対策や対処方法など、有事の際に取るべき行動について市ウェブサイトに掲載し、国民保護ポータルサイトにリンクさせるとともに、広報おおさきへ掲載し、情報の周知に努めている。

また、各自主防災組織の防災訓練や講習会において、ミサイル発射時の行動を訓練メニューに追加し実施している。

防災行政無線屋外拡声子局

**掲載以外の主な質問項目**
- 公共施設のＬＥＤ化
- 公共施設の防犯カメラの設置
- メーカーのデータ改ざん問題
- 人口増加対策

## 子ども医療費助成制度の所得制限廃止

鎌内つぎ子

**問**　市長は、「子どもは地域の宝、未来を切り拓く宝」と捉えており、とても素晴らしいと思う。

子どもが、まちの未来であれば、全ての子どもたちを市民みんなで本気で応援する、そんなまちこそが発展すると思う。所得制限は、子どもを親の持ち物に捉え、おかしいのではないか。

兵庫県明石市では、子どもを核としたまちづくりを進め、税収は5年前に比べ約30億円増える見込みで、人口も4年連続で増加し、その間で6千人増えている。その理由は、市民のニーズに寄り添い、大学や企業の誘致より子育て施策の充実で、それに応えることが市の発展につながると考えているからである。

本市でも兵庫県明石市のように、子ども優先のまちづくりを進め、所得制限を廃止するべきと考えるがどうか。

**答**　兵庫県明石市の例を勉強させていただき、総合的に研究、判断していく。

**掲載以外の主な質問項目**
- 子どもに対するインフルエンザ等予防接種の無料化
- 多子世帯の保育料負担軽減
- 学校給食費の負担軽減
- 養護教諭の幼稚園兼務解消
- 教員補助の増員、通級学級の設置や増設

## 工業団地内に地域振興施設を

佐藤　　勝

**問**　小野新鶴巻地区の工業団地は、地質調査、測量業務等の結果が出ている。県との農振農用地区域除外の協議が遅れているが、協議の進捗状況について伺う。

**答**　農工団地として開発することを想定し、県や地元との調整を進めていく。

**問**　団地内に、地域資源活用拠点施設を併せて整備し、農村の活性化と世界農業遺産の保全・活用と、次世代に引き継ぐ体験学習等のできる複合型施設として整備すべきと考えるが、所見を伺う。

**答**　世界農業遺産推進協議会で「フィールドミュージアム構想」を策定し、食育、農の体験及び保全活動を学習し、ラムサール条約に登録された蕪栗沼及び周辺水田や化女沼を活用した観光振興を検討する。

### 工業団地内の道路改良

**問**　国道４号の４車線化と、市道荒谷大貫線の整備について伺う。

**答**　４車線化は、期成同盟会において、荒谷大貫線は国道４号への接続で、右折レーンの設置の検討が必要と考えている。

**掲載以外の主な質問項目**
- 庁舎建設の木造、木質化

# 平成２９年 第４回定例会

　今定例会は、市長提出の平成２９年度大崎市一般会計補正予算（１億２,６４９万９,０００円減額）をはじめ、議案として報告１件、承認１件、予算案８件、条例案５件、指定管理者の指定等のその他議案２４件及び議員提出議案２件が提出されました。

　このうち、議案第１７０号は賛成少数で否決となりました。その他の議案は原案のとおり可決されました。

## 市長提出議案

| 件名 | | | 審議結果 |
|---|---|---|---|
| 専決処分 報告 | 報告第 22号 | 公の営造物の管理の瑕疵に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて | ― |
| 専決処分 承認 | 議案第132号 | 平成29年度大崎市一般会計補正予算（第4号） | 承認 |
| 補正予算 | 議案第133号 | 平成29年度大崎市一般会計補正予算（第5号） | 原案可決 |
| | 議案第134号 | 平成29年度大崎市夜間急患センター事業特別会計補正予算（第1号） | |
| | 議案第135号 | 平成29年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | |
| | 議案第136号 | 平成29年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第3号） | |
| | 議案第137号 | 平成29年度大崎市下水道事業特別会計補正予算（第1号） | |
| | 議案第138号 | 平成29年度大崎市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） | |
| | 議案第139号 | 平成29年度大崎市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号） | |
| | 議案第140号 | 平成29年度大崎市病院事業会計補正予算（第1号） | |
| 条例 一部改正 | 議案第141号 | 大崎市個人情報保護条例及び大崎市情報公開条例 | 原案可決 |
| | 議案第142号 | 大崎市職員の育児休業等に関する条例 | |
| | 議案第143号 | 大崎市一般職の職員の給与に関する条例 | |
| | 議案第144号 | 大崎市都市計画税条例 | |
| | 議案第145号 | 大崎市病院事業の設置等に関する条例 | |
| その他 | 議案第146号～166号 | 指定管理者の指定について | 原案可決 |
| | 議案第167号 | 大崎市と宮城県との間の公平委員会の事務の委託について | |
| | 議案第168号 | 字の区域を新たに画することについて | |
| | 議案第169号 | | |

## 議員提出議案

| 件名 | | | 審議結果 |
|---|---|---|---|
| 意見書 | 議案第170号 | 核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書 | 否決 |
| | 議案第171号 | 地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書 | 原案可決 |

# 意見が分かれた議案の賛否一覧

議案第170号　核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書（賛成11：反対18）

| 議員名／議案名 | 議決結果 | 佐藤仁一郎 | 佐藤仁一 | 八木吉夫 | 氷室勝好 | 佐藤弘樹 | 中鉢和三郎 | 相澤久義 | 鎌内つぎ子 | 木村和彦 | 加藤善市 | 横山悦子 | 関武徳 | 遊佐辰雄 | 只野直悦 | 相澤孝弘 | 富田文志 | 山田和明 | 後藤錦信 | 氏家善男 | 山村康治 | 木内知子 | 豊嶋正人 | 青沼智雄 | 佐藤和好 | 大友文司 | 佐藤勝 | 大山巖 | 佐藤清隆 | 小沢和悦 | 門間忠 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第170号 | 否 | × | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | × | × | ○ | × | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | 議 |

「可」➡ 可決、「否」➡ 否決、「○」➡ 賛成、「×」➡ 反対、「欠」➡ 欠席、「議」➡ 議長

議案審議（こんな事を議論しました）

## 第４回定例会 議案審議

**平成29年第４回定例会の議案審議は、12月12日、13日の２日間で10人が質疑を行いました。**

**質疑の要旨は次のとおりです。**

### ふるさと納税推進事業

問 **委託先はどこか。**

答 一般社団法人みやぎ大崎観光公社である。

問 **ふるさと納税は、年間いくらくらいの額を想定しているのか。**

答 28年度の実績が２億９１００万円なので、ほぼ同額とみて、当初予算との差額を補正するものである。

### 放課後児童支援施設整備事業

問 **減額理由は。**

答 当初予算において、古川地域に民設民営で放課後児童クラブを新設する計画で予算計上したが、用地確保が困難となったことから、今年度中の建設は困難と判断し減額補正するものである。

### 空き家対策事業

問 **空き家かどうかの確認は、どのように行われているのか。**

答 傾斜、土台、基礎、柱、梁、筋交い、屋根、外壁等の老朽化について、ある程度点数化し把握している。確認は、環境保全課の職員が現地に赴き、申請者の説明を聞きながら判断している。

### 防災対策経費

問 **防災対策経費９９３０万円の内容は。**

答 防災行政無線の戸別受信機の配備に関するもので、計画上で難聴世帯と位置づけられている世帯への、受信機本体設置及び外部アンテナ設置委託料である。

### 学校教育環境整備事業

問 **内容は。**

答 主に、岩出山地域の小学校統廃合に係る準備経費である。

### 学校管理費

問 **修繕料の内容は。**

答 小学校においては、消防設備、暖房機、遊具等の点検結果に基づく修繕を見込んでいる。

中学校については、消防設備、ストーブ、学校側からの修繕依頼のあった修繕を見込んでいる。

### スポーツ団体支援事業

問 **補助金の対象となるスポーツ団体は。**

答 全国大会助成金の対象となるのは、市内を活動の拠点とする団体で、全国大会に出場する児童等が所属する団体及び児童等の保護者または指導者である。

**第４回定例会**

**傍聴人数 59人**

※皆様の傍聴をお待ちしております。

# 平成29年各委員会活動報告

13ページから16ページまで、平成29年１月から12月までの議会運営委員会・常任委員会・特別委員会の活動及び行政視察の主な内容を紹介します。
（◎＝委員長　○＝副委員長）

## 議会運営委員会

【委員数８名】
◎富田文志　○鎌内つぎ子　佐藤仁一郎　八木吉夫　中鉢和三郎　加藤善市　只野直悦　氏家善男

### 先進地に学ぶ議会改革

委員長　富田　文志

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年行っている議会改革度調査では、平成28年度の議会改革度ランキングで、大崎市議会は総合84位（全地方議会1788議会のうち、アンケートに回答した1347議会を調査）でした。

議会運営委員会は、11月13日から15日までの３日間、静岡県藤枝市、神奈川県鎌倉市、栃木県那須塩原市で、それぞれの議会が取り組んでいる議会改革について、特に予算・決算特別委員会の在り方やＩＣＴの活用策など、議会運営を中心に研修を行いました。

これらの内容を十分に検討を重ね、今後の議会運営に活かしていきます。

行政視察（那須塩原市）

**行政視察**
平成29年11月13日～15日
静岡県藤枝市
①議会改革の取り組み
神奈川県鎌倉市
②議会改革の取り組み
栃木県那須塩原市
③議会改革の取り組み

**開催回数**
委員会17回

## 総務常任委員会

【委員数７名】
◎佐藤仁一　○大山巖　相澤久義　只野直悦　後藤錦信　大友文司　小沢和悦

### 安全安心の実現へ

委員長　佐藤　仁一

本委員会は、昨年に引き続き、教育施設再編や公共交通の充実に関する調査活動を重点的に実施してきました。

また、放射性物質汚染廃棄物処理についての取り組みの現状と課題に関する調査にも取り組んでいます。

特に、岩出山地域の統合小学校開校と、それに伴う跡地利用については喫緊の課題であることから、児童や地域の方々が安心して通学・生活ができるスクールバスの運行、また、廃校後の跡地等利活用や統合小学校の施設環境について現地調査を行い、実態把握や課題解消に努めてきました。

今後も、安全で安心できるまちづくりの実現に向け、精力的な委員会活動を進めていきます。

岩出山地域関係者との意見交換会

**行政視察**
平成29年７月31日～８月２日
福岡県福岡市
①公共交通に係る条例の制定と施策の取り組み
熊本県八代市
②公共交通に係る施策及び取り組み
熊本県宇土市
③コミュニティ・スクール
④熊本地震における被害状況と復興状況

**開催回数**
委員会18回　現地調査１回

## 民生常任委員会

【委員数８名】
◎横山悦子　○木村和彦　中鉢和三郎　鎌内つぎ子　富田文志　氏家善男　豊嶋正人　佐藤清隆

### 保健福祉・医療の充実

委員長　横山　悦子

本委員会は、保健・福祉・医療分野を所管しており、民生部と病院事業の調査をしてきました。

現地調査として、平成29年２月に大崎私立保育園園長会との意見交換の際、鳴子地域の保育園の問題（人口減少、過疎化、少子高齢化）についてお話をいただき、６月に鳴子地域の私立保育園において様々な課題と現状について、現地調査を実施しました。

# 平成29年各委員会活動報告

また、28年3月に公立保育所民営化計画が策定され、民営化に向けた取り組みが進む中、岩出山地域の課題と現状について、現地調査を行いました。

いわでやま幼稚園現地調査

**行政視察**

**平成29年11月6日～8日**

愛知県岩倉市
①徘徊ＳＯＳネットワーク

三重県鈴鹿市
②がん検診推進事業

愛知県小牧市
③地域密着型サービス

**開催回数**

**委員会10回・現地調査1回**

## 産業常任委員会

**【委員数7名】**

◎佐藤勝　○八木吉夫　佐藤弘樹　関武徳　遊佐辰雄　山村康治　青沼智雄

### 産業活性化に向けて

委員長　佐藤　勝

本委員会は、農業振興、商工振興、観光振興等の産業分野を所管しています。

現地調査として、平成30年度からの農業振興策、汚染牧草の減容化試行、世界農業遺産、工業団地の整備、鳴子温泉地域の観光振興と観光公社との連携、下地獄15号源泉の結果等々、市の当面の課題と将来の産業振興について、各関係団体との意見交換、調査を行いました。

**行政視察**

**平成29年10月25日～27日**

奈良県生駒市
①遊休農地活用事業

兵庫県養父市
②廃校への企業誘致活動

滋賀県高島市
③有害鳥獣被害対策

**開催回数**

**委員会9回・現地調査3回**

３ＪＡとの意見交換会

## 建設常任委員会

**【委員数7名】**

◎加藤善市　○佐藤仁一郎　氷室勝好　相澤孝弘　山田和明　木内知子　佐藤和好

### 災害復旧とまちづくり

委員長　加藤　善市

本委員会では、昨年に引き続き関東・東北豪雨災害対策として国、県、市の復旧状況の確認及び国、県の河川に対する取り組みについて調査・要望活動を行っ

## 議会の主な動き

**12月**

- 1日　建設常任委員会
- 4日　議会運営委員会
- 7日　本会議（第4回定例会）
  会派代表者会議
  議員全員協議会
  議会運営委員会
  情報化対策特別委員会
- 12日　本会議
- 13日　本会議
  議員全員協議会
- 18日　本会議
  議会運営委員会
- 19日　本会議
- 20日　本会議
- 21日　本会議
- 26日　市役所庁舎建設調査特別委員会

**1月**

- 19日　議会改革推進協議会幹事会
- 22日　議会運営委員会
- 23日　民生常任委員会
- 24日　市役所庁舎建設調査特別委員会
  産業常任委員会
  総務常任委員会
  （調査視察）
- 25日　総務常任委員会
- 26日　情報化対策特別委員会
- 29日　建設常任委員会
  議員全員協議会
- 30日　総務常任委員会

**2月**

- 2日　議会運営委員会
- 6日　本会議（第1回定例会）
  予算特別委員会
  議員全員協議会
  議会改革推進協議会幹事会
- 7日　情報化対策特別委員会
- 8日　本会議
- 9日　本会議
  民生常任委員会
- 14日　予算特別委員会
- 15日　予算特別委員会
- 16日　予算特別委員会
  総務常任委員会
  民生常任委員会
- 20日　予算特別委員会
  議会運営委員会
- 21日　予算特別委員会
- 26日　予算特別委員会
  本会議
- 27日　本会議
- 28日　本会議

てきました。
市民要望の多い河川や市道の現地調査を建設部と合同で行い、より多くの要望箇所が整備されるよう努めてきました。
また、中心市街地再開発の先進地として、新潟県長岡市を視察しました。調査を通し得た情報を、中心市街地再開発に活かせるよう提言していきます。

行政視察（長岡市）

**行政視察**
平成29年10月25日～27日
富山県射水市
①パークゴルフ場の設置運営
富山県黒部市
②下水道バイオマスエネルギー利活用施設
新潟県長岡市
③中心市街地再開発

**開催回数**
委員会６回・現地調査２回

## 市役所庁舎建設調査特別委員会

【委員数11名】
◎関武徳　○只野直悦　氷室勝好　鎌内つぎ子　横山悦子　相澤孝弘　後藤錦信　豊嶋正人　佐藤和好　大友文司　佐藤清隆

### 未来を見据えた庁舎へ

委員長　関　武徳

本委員会は、計画される庁舎が次代に不足を来すことのないよう、鳴子総合支所、田尻総合支所、本庁舎の建設に求められる方針や施設機能をはじめ、環境配慮や管理コストの抑制も視野に入れ、市民の利便性、効率的な執務環境、庁舎の拠点機能や周辺エリアとの調和とまちづくりへの相乗効果等、市民皆様の思いを踏まえた各会派の意見を集約し調査を行ってきました。
これまで10回の委員会を開催し、委員間協議や執行部への提言、協議を重ねてきました。更には、新庁舎に求めるべき具体的な課題を整理する観点から、調査視察を実施しました。

鳴子温泉地域現地調査

**行政視察**
平成29年８月22日～23日
新潟県新発田市
①庁舎建設事業
新潟県燕市
②庁舎建設事業

**開催回数**
委員会10回・現地調査１回

## 表紙の写真

頑張っている大崎の人、今回の登場は松山三本木卓球スポーツ少年団です。
前身の三本木スポーツ少年団が団員不足からチーム活動が困難となり、名称変更し地域を越えた小中学生団員を募集し結成されました。
指導方針は、「卓球を通して人間性を磨き、世の為人の為に尽くせる人になれ」とのこと。
メンバーのうち三本木地域の中学生が所属する三本木中卓球部。昨年度は、宮城県中学卓球界初の男女団体・個人完全制覇の偉業達成し、今年度も団体戦で優勝し二連覇を達成しました。小学校低学年から卓球に親しみ、豊富な経験と優れた実績のある指導者のいる良好な練習環境が、活躍の背景にあります。
また、卓球の底辺拡大を図るため、二階堂トクヨ記念「サンフラワー大会」等を年３回開催し、県内外から小中高生２００人を超える参加者で、交流人口拡大にも寄与しています。
今後、なお一層努力精進を重ね、合言葉は『めざせ東京オリンピック！』です。

## 情報化対策特別委員会

【委員数8名】
◎中鉢和三郎　○木内知子
八木吉夫　相澤久義　山田和明　後藤錦信　豊嶋正人　青沼智雄

**行政視察**
平成29年11月20日～21日
埼玉県春日部市
①市議会だより編集
②議会中継
埼玉県越谷市
③委員会中継を含む議会中継
④市議会だより編集

**開催回数**
委員会14回

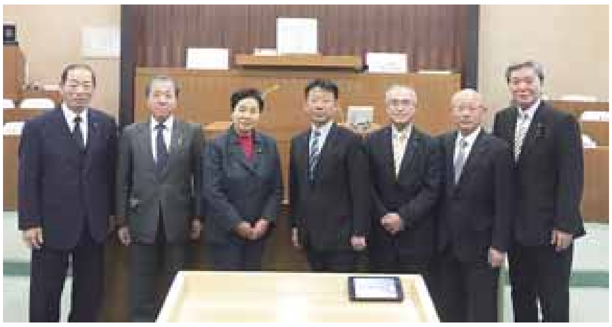
### 魅力ある議会だよりへ

委員長　中鉢　和三郎

議会に興味を持ち、議会に魅力を感じて頂くために、市民皆さんに親しんで頂ける議会だよりを目指し、様々な改善を積み重ねてきました。

表紙の写真のテーマを「頑張っている大崎の人」とし、フルカラー化したのもその一つです。各定例会の議案審議のページは、全ての議案を羅列していたものを表形式にコンパクトにまとめました。限られた紙面では伝えきれない事柄も多いので、詳しくは議会ウェブサイトを見て頂くこととし、参照し易いようにQRコードを付けました。

現在のメンバーでの取り組みは次号までですが、改善の取り組みは今後も続きます。


行政視察(春日部市)

**第4回定例会**
議会中継（LIVE）アクセス件数
**2,617件**

# 大崎地域世界農業遺産認定

「豊穣の大地、大崎地域の世界農業遺産認定を熱望し、先人から引き継いだ地域資源を再認識し、農産物のブランド化や６次産業化、都市と農村交流、農村景観と農文化の保全、担い手となる次世代の育成に取り組んでいくことを議会の総意として表明いたします」という議長の声明から始まった第４回定例会会期中に、国連食糧農業機関（FAO）より『大崎耕土』の巧みな水管理による水田農業システムが、世界農業遺産に認定され公表されました。

議会として、引き続き保全と活用に向けた推進を支援していきます。

## 編集を終えて

第４回定例会の特徴点は、通常の補正予算や条例の一部改正に加えて、市民生活に密接で身近な各地区公民館等について、新年度から第３期の始まる指定管理者の指定に関する議案が21件に及び、承認されました。

そして、一般質問は26名が行い、活発な議論が展開されました。

昨年11月には、埼玉県春日部市と越谷市を視察してきました。インターネットによる録画中継の配信が本市よりも早く、議会だよりも１カ月早く発行しており、今後できるだけ早く、皆様のもとにお届けできるよう努力していきます。

豊嶋　正人

◆情報化対策特別委員会◆
委員長　中鉢和三郎
副委員長　木内知子
委員　八木吉夫
〃　相澤久義
〃　山田和明
〃　後藤錦信
〃　豊嶋正人
〃　青沼智雄

編集発行　大崎市議会
〒989-6321　宮城県大崎市三本木字大豆坂24番地3
TEL 0229-52-5838　FAX 0229-52-5860
〈URL〉http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/27 〈E-mail〉gikai@city.osaki.miyagi.jp